

各領域の戦略			2025年4月
領域	2024年度の目標	2024年度の実績	2025年度の目標
1. 教育			
① 3つのポリシーとコンピテンシーの実質化	1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー、教員オンラインテスト等)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験の適切な実施(教員へのFD、修学指導方針説明会での説明、教授会申し合わせ事項の改正等)	1) 教育WSの開催(9/27)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施(11/9・10) 3) 試験問題作成WSの開催(6/15) 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー(5回)、教員オンラインテスト(10/4・5))の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励(3名3編) 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験の適格化に向けた各種試験における実施責任者・評価者認定講習会受講、模擬患者養成にかかる協力体制の構築、課題実施に向けた環境整備	1) 教育WSの開催(1回)と次年度カリキュラムの検討 2) カリキュラム研修WSの実施計画 3) 試験問題作成WSの開催 4) 各種FD(歯科医学教育セミナー、教員オンラインテスト等)の開催 5) リサーチマインド養成のためのカリキュラム推進や卒業論文奨励 6) 教育成果に関する第三者評価の実施 7) 共用試験の適切な実施(教員へのFD、修学指導方針説明会での説明、学内における模擬患者要請、評価者認定講習会の継続的受講)
② 入試制度の見直し	1) 入試制度について検討を継続	1) 入試検討委員会による検討の実施(7/1) 学生等特別選抜の受験要件の見直し	1) 入試制度について検討を継続(入試検討委員会の開催)
③ 高大接続教育の充実	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回)	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(8/22) 糸魚川白嶺高校への出前授業実施、協議会開催(9/13) 生涯学習講座「お口の健康教室」実施(2/28)	1) 糸魚川市との包括的連携に関する協議会の開催(2回)
④ 国際コミュニケーション力の育成	1) 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討	1) 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討 3) 海外研修の機会の充実	1) 英語Ⅰ、Ⅱの実施 2) 各専門教科における英語教育の充実の検討(教育WSによる検討) 3) 海外研修の機会の充実
⑤ 歯科界のリーダーとなるためのキャリアパスの構築	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生学外セミナー)	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生学外セミナー実施(9/25～26))	1) 卒業生アンケートの実施 2) キャリア支援教育の充実(3年生に対するキャリアセミナー)
⑥ 大学院教育の高度化と国際化に基づく研究人材育成	1) 昨年度に引き続き、日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーを行う。 2) 「がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース」による教育を実施する。	1) プレFDセミナーの実施(2024.9.17) 2) キャリアパスセミナーの実施2024.9.24) 3) 日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーの実施(2025.1.21) 4) 「がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース」による教育の実施	1) プレFDセミナーの実施 2) キャリアパスセミナーの実施 3) 日本学術振興会特別研究員に関する大学院セミナーの実施 4) 海外学会発表支援経費による一部旅費の補助 5) 「がんプロフェッショナル養成プラン正規課程3コース」による教育の実施
⑦ 学生の生活支援の充実	1) 学年代表意見交換会：対応の可否について、学生にフィードバックをする。	1) 学生の要望を受け、学内施設の充実化(電化製品の設置・女子トイレの環境整備等) 2) 水道橋校舎新館の女子トイレ増設を予算化	1) 学年代表意見交換会：対応の可否について、学生にフィードバックを実施 2) 学内施設の充実化(女子トイレの増設等)
⑧ 生涯教育	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2024への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーへの協力	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2024の実施 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーの実施	1) 同窓会主催のTDCアカデミア2025への協力 2) 同窓会との共催によるリカレント教育セミナーへの協力
2. 研究			
① 口腔科学研究センターを中心とした研究の集約化と研究支援体制の充実	1) 2024年度も引き続きウェルビーイングプロジェクトを推進し、口腔科学研究センターワークショップを開催する。さらに、次のプロジェクトの方向性の検討を開始する。 2) 機器のオペレーターについての体制等の検討を行う。	1) ウェルビーイングプロジェクトを推進 2) 2024年度口腔科学研究センターワークショップを開催(2025/2/25)	1) 2025年度も引き続きウェルビーイングプロジェクトを推進し、口腔科学研究センターワークショップを開催。さらに、次のプロジェクトの方向性を検討 2) 機器のオペレーターについての体制等の検討
② 研究における学内外の連携体制の強化	1) 2024年度も引き続き学内外における共同研究の支援を行う。	1) 学内外における共同研究の支援を実施	1) 口腔科学研究センターの活用や、学外研究施設との共同研究を通じた歯科臨床に還元できる臨床研究、疫学研究および生命科学研究等の支援を実施
③ 研究成果に基づく知財創出と産学官連携推進のための体制構築	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築に加え、特許等の取扱いについての規程等を整備する。	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築を継続実施 2) 特許等の取扱いについて「学校法人東京歯科大学発明等取扱規程」を2025年4月1日付で制定	1) 引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制を構築
3. 国際化			
① 教員と学生の国際交流の推進	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study、海外研修の実施計画 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (候補大学: North Carolina大学Chapel Hill校、University of South Californiaなど)	1) 延世大学(韓国)学部学生の受け入れ開始(相互研修)、空軍軍医大学(中国)主催学生コンペティションへの学生・引率教員派遣 2) Elective study、海外研修の実施(3月) Elective study: 1・2学年台湾、3学年スウェーデン、4学年スイス・ドイツ、5学年アメリカ 海外研修: 3学年韓国 ※新たにUniversity of Bern(スイス)へ4学年が遠航 3) University of Bern(スイス)およびOregon Health & Science University(米国)との大学間学術協力協定締結	1) 姉妹校、学術協力協定校との連携強化 2) Elective study、海外研修の実施計画 (香港大学への学生派遣の実施計画等) 3) 他大学との姉妹校協定または学術協力協定締結へ向けての準備 (空軍軍医大学(中国)との協定更新等)
4. 医療			
① 高品質の医療提供	1) 水道橋病院における医療DXの積極的な活用を実現(医療系システムの充実) 2) 安心・安全な医療を実現するための職員教育 3) 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療及び緩和ケアの推進と実践を行い、薬物療法室のチーム医療に基づいた安心・安全な運営と利用を促進する。 4) 外科領域におけるロボット支援手術を推進する。	1) 水道橋病院における新医療系システムの運用開始(2025年1月から) 2) 定期的(月1回)な教職員研修会の開催 水道橋病院と市川総合病院との医療安全相互チェックの実施 3) 市川総合病院における安全・安心ながん集学的治療はより充実した方向に進んでおり、特に薬物療法室においては利用率が40%～50%に上昇 4) 市川総合病院におけるロボット支援手術数は、昨年度までの泌尿器科に外科領域の手術が加わり手術件数は10%上昇	1) 水道橋病院における新医療系システムの活用による、患者サービス、患者管理の徹底 2) 市川総合病院における地域がん診療拠点病院として、医歯薬の連携をより強固なものとし安全・安心ながん診療の実行を継続 3) 市川総合病院におけるロボット支援手術に関して、手術を行う診療科を増やし手術件数の増加 4) 安心・安全な医療を実現するための教職員教育の継続 5) 医療倫理に対する教職員の意識向上の徹底 6) 医療事故防止のため病院間相互チェックを実施 7) 施設の効率的な運営を推進するために、診療科等のセグメント別収支の検証を実施
② 附属医療機関を中核とした病病・病診連携体制の強化	1) 病診・病病連携の充実(医療連携報告会の対面での開催) 2) 地域医療支援病院として、地域の医療機関から要請のある入院診療が必要と思われる全ての患者の受け入れを行う。	1) 水道橋病院における連携医を対象とした医療連携報告会の開催(2025年2月) 2) 水道橋病院において地域連携医との対面でのカンファレンスを実施 2) 市川総合病院における病診・病病連携をより充実させるために定期的に対面でのカンファレンスを行い、顔の見える関係構築のために意見交換会を実施 3) 市川総合病院における地域の医療機関からの入院が必要な患者について70%～80%の受け入れ	1) 水道橋病院における病診・病病連携のさらなる強化(医療連携報告会と意見交換会の対面での開催) 2) 市川総合病院における病診・病病連携をより充実させるためにカンファレンスに加え、歯科医師・医師と直接ディスカッションできる場を設置。意見交換会の実施の継続 3) 市川総合病院における地域医療支援病院として、昨年度は達成できなかった地域の医療機関からの入院要請患者の受け入れ率100%を実践
③ 臨床研究の推進	1) 臨床研究の推進とともに、不適切な研究が実施されないよう自己チェック体制の整備	1) 研究倫理に関する講習会の実施	1) 臨床研究の推進をはかるために、講習会を開催し研究のフローを周知
④ 建学の精神を具現化する歯科界のリーダーとなる医療人材育成	1) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 2) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実 3) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実	1) 複数の臨床研修プログラムを用意し、それぞれの施設の特徴を明確にアピールして臨床研修医の募集を実施 2) 協力型臨床研修施設とは常に連携を取り、臨床研修の質を担保 3) 新卒のドクターに対してキャリアパスを示す機会を設置	1) 学部学生や新卒のドクターに対して、キャリアパスを示す機会を設定 2) 各学会認定医・専門医・指導医等の資格取得のための支援体制の充実 3) 3施設の特徴を有した臨床研修プログラムおよび医局員研修プログラムの充実 4) 協力型臨床研修施設に対する管理の徹底と質の充実
5. 社会貢献			
① 知財創出と産学官連携推進のための体制構築	1) 2024年度も引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制を構築する。	1) 知財創出と産学官連携推進のための体制構築を継続して実施 2) 特許等の取扱いについては「学校法人東京歯科大学発明等取扱規程」を2025年4月1日付で制定	1) 2025年度も引き続き知財創出と産学官連携推進のための体制を構築
② 地域連携	1) 引き続き千代田区との連携の深化を図りつつ、連携協定を締結している他大学との更なる連携も模索 2) 地域の祭りへの参加など町内会との交流を強化	1) 千代田区主催の図書館イベントへ参加し連携を強化 2) 地域の祭りへの参加など町内会との交流を強化	1) 引き続き千代田区との連携の深化を図りつつ、連携協定を締結している他大学との更なる連携も模索 2) 町内会との交流体制を維持・強化
③ 公的機関の審議会等における発信力の強化	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握	1) 公的機関の審議会等における委員就任のための支援 2) 公的機関の審議会の委員や学会の役員などの就任状況の把握
6. 教学マネジメントとガバナンス			
① 迅速かつ適切な意思決定の仕組み	1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な会議体の設置	1) 法人と大学と部門別に定期的な情報交換を実施し、情報共有の徹底、連携の強化を図る	1) 法人と大学との連携を強化するための定期的な情報交換の実施
② 効率的かつ柔軟な人材配置	1) ワークライフバランスに配慮した仕組の検討	1) 大学内関係各所の状況を鑑みながらの人材配置 2) 水道橋校舎フレックスタイム制に係る申し合わせを作成	1) 教員・職員の適正配置 2) 育児・介護等に配慮した仕組の検討
③ FDとSDの推進	1) FDの実施 2) SDの実施	1) FDの実施: 歯科医学教育セミナー(5回)の開催他 2) SDの実施: 多数(私大連研修への参加、各種研修会開催等)	1) FDの実施 2) SDの実施
④ 教職員の評価	1) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施	1) 教育職員活動目標及び評価シートの見直しを実施 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の拡大実施	1) 教育職員活動目標及び評価の見直し 2) 事務職員「目標管理・自己点検評価」の継続実施
⑤ 教育研究環境の整備	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の実施	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の検討	1) デジタルデンティストリーを見据えた臨床基礎実習室整備計画の実施 2) スキルラボに必要なシミュレータ等の新規導入の検討
⑥ ICTの強化と情報security	1) 情報セキュリティインシデント発生時の対応を行う組織としてCSIRT(Computer Security Incident Response Team)の設置を検討 2) 動怠システムを中心とした基幹業務DX化の推進 3) VR等の動画データ転送を考慮した教育学術無線ネットワークの拡張とそれに対応した通信機器のリプレイス 4) 附属施設(病院)医療情報システムの各部門データ連携とセキュリティに配慮したシステムリプレイスの実施	1) 本学における、一層の管理統制と強固な情報セキュリティ体制を構築するための見直し(継続中) 2) 動怠システムを中心とした基幹業務DX化の推進(継続中) 3) 新館・さいち坂校舎における教育学術無線ネットワーク機器のリプレイスを実施 同時に、さいち坂校舎における学術専用線(SINET)新設を実施。 4) 水道橋病院医療情報システム(電子カルテ)を導入し、病院内におけるセキュリティを配慮した医療情報データの一元化管理を実施	1) 情報セキュリティインシデント対応を行う組織(CSIRT(Computer Security Incident Response Team))の設置を見据え、各拠点における連携窓口部門の設置を検討 2) 事務部門の基幹業務DX化の推進 3) 本館における学術無線ネットワーク機器のリプレイス 4) 市川総合病院・千葉歯科医療センターにおける学術専用線(SINET)の新設およびSINETを利用した拠点間通信(仮想大学LAN)の構築
⑦ 将来計画	1) 法人による中期計画の策定と計画実施および進捗状況評価	1) 2019年度～2024年度までの中期計画は概ね達成したことを確認 2025年度からの7年間の次期中期計画を策定	1) 法人による中期計画の進捗状況評価